

第1回中四国パーキンソン病薬物治療研究会

日時・会場

平成28年3月5日(土)14:30~16:45

ホテルJALシティ広島『シリウス』

広島市中区上鞆町7-14(TEL 082-223-2580)

プログラム

【開会の辞】 鳥取大学医学部 脳神経医科学講座 脳神経内科学分野

教授 中島 健二 先生

【一般講演】14:30~15:50

座長 ねごろ神経内科クリニック 院長 根来 清 先生

1. 『Vim-DBSとGPi-DBSの併用が有用であった進行期パーキンソン病症例』

鳥取大学医学部附属病院 神経内科 助教 瀧川洋史 先生

2. 『イストラデフィリンの使用経験』

ビハーラ花の里病院 神経内科部長 織田雅也 先生

3. 『治療に難渋している若年性パーキンソン病の1例』

高知大学医学部老年病・循環器・神経内科学講座 講師 大崎康史 先生

4. 『パーキンソン病に対するイストラデフィリンの有用性』

ねごろ神経内科クリニック 院長 根来 清 先生

休憩

【特別講演】16:00~16:45

座長 鳥取大学医学部 脳神経医科学講座 脳神経内科学分野

教授 中島 健二 先生

「 Wearing offに対するイストラデフィリンの臨床効果 」

よしなが神経内科クリニック

院長 好永 順二 先生

【閉会の辞】

よしなが神経内科クリニック 院長 好永 順二 先生

尚、講演会終了後、情報交換会を予定しております。ご出席の先生方から会費1,000円を徴収させていただきます

共催 中四国パーキンソン病薬物治療研究会協和発酵キリン株式会社